

No.	16-1-3	場所	豊丘村神稲	次世代への継承キーワード
名称	伴野堤防の決壊			災害現象理解
災害現象	堤防決壊			河川 天竜川本川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

本来は梅雨の盛りのはずだが、田植えどころか水田の代かきもできないほど、春先からの少雨で水枯れの状態が続いた1961年（昭和36年）6月。ところが、23日夜から降り出した雨は「お湿り」どころか徐々に勢いを増し、下伊那郡豊丘村でも雨水を吸い込んだ山肌の土砂が部分的に大きな被害をもたらした。

中でも、県道伊那生田飯田線から4キロほど東側の山あいにあった河野地区の二丁集落では、27日午後の山崩れをきっかけに電灯が消え、村からの情報も途絶えた。土砂交じりで濁流と化した間沢川は、一晩の間に農地を根こそぎ飲み込み、川べりの幹線道路を全てえぐり取ってしまった。

●体験談：災害当時、豊丘村豊丘中学校3年生
 ラッパの音 重く低く、どんよりした空にひびく
 「もう、だめなんだなん。」
 誰かがつぶやく
 「ドー」
 堤防をのり越え 茶色の水が流れこむ 木を倒し
 一瞬の間に家をつつむ 私 ただ呆然と じぶんの家を見ていた
 声も出なかった 息をすることも忘れたような気がした
 涙が目にいっぱいたまった 泣かないぞ 歯をくいしばってこらえた
 濁流が 目の前を音をたてて流れている
 「バカッー」
 大声で叫びたかった

（「濁流の子」p.33より）

記 録



豊丘村源道地。決壊した伴野堤防

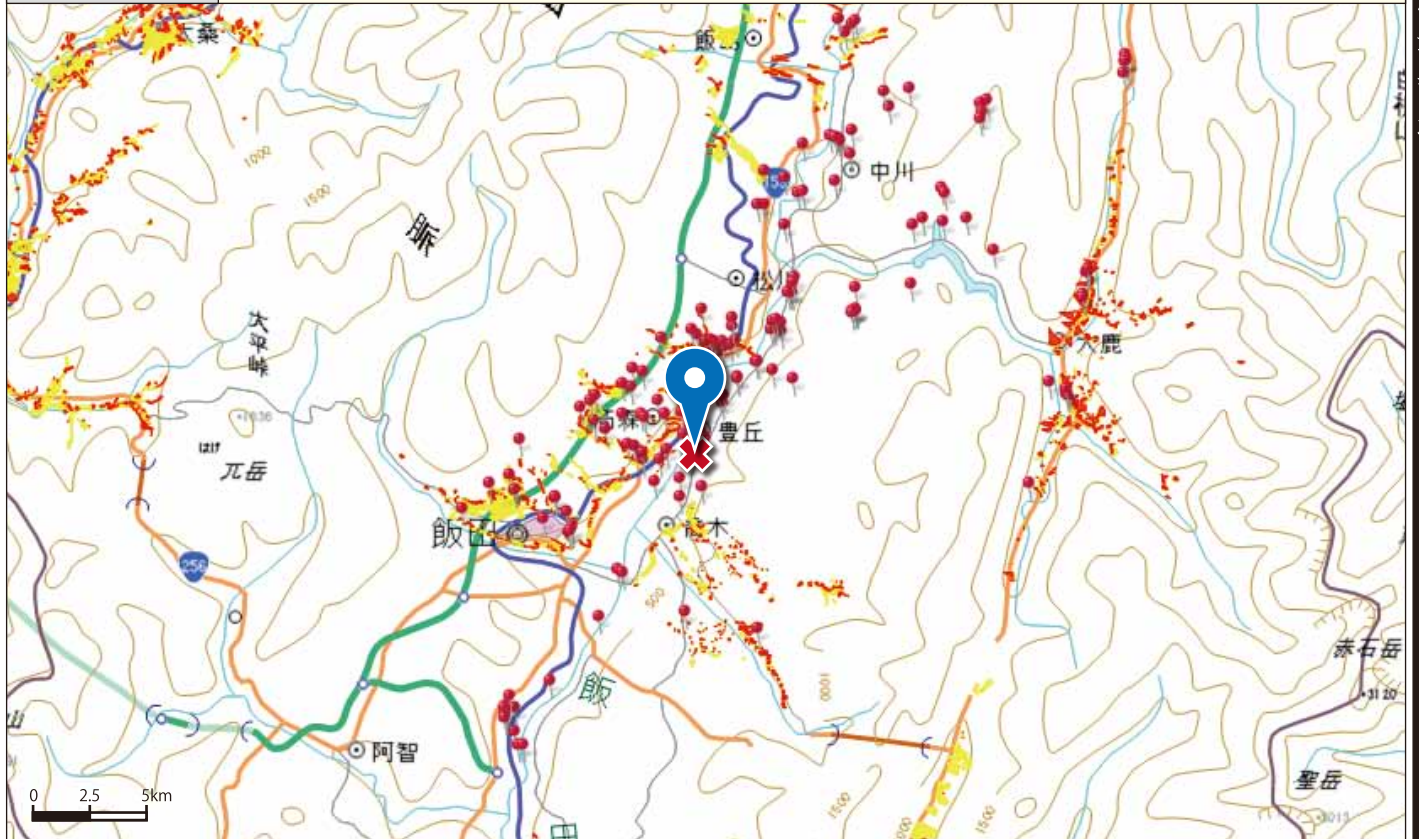
出典 「天竜川のあの頃」p.200/「濁流の子」p.33

備考

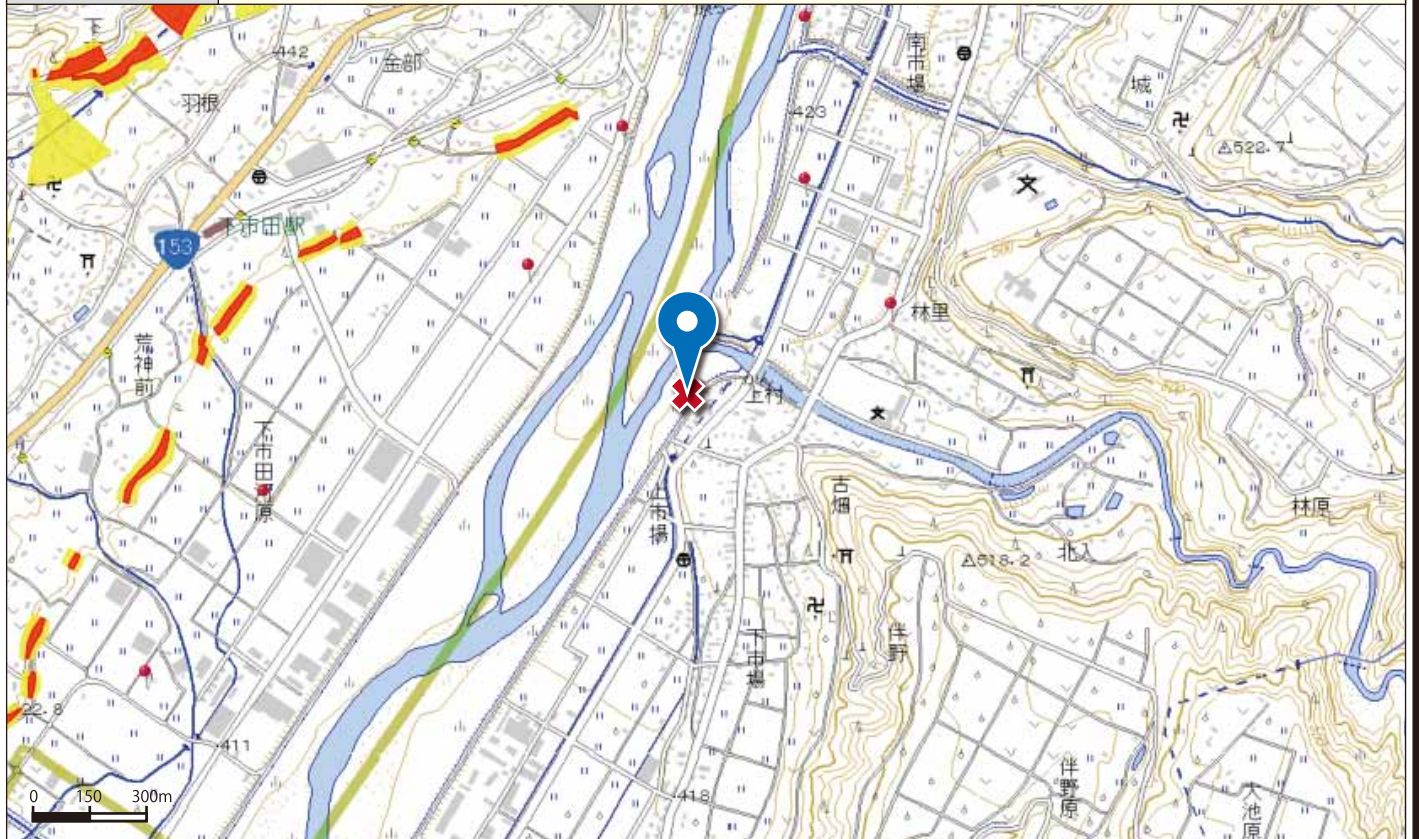
No.	16-1-3	場所	豊丘村神稲	緯度	35.540608
-----	--------	----	-------	----	-----------

名称	伴野堤防の決壊	経度	137.888404
----	---------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---